



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月25日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <http://www.kourakuen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 傳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 武田 典久 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,808	9.3	△18	—	13	△94.8	△79	—
24年3月期第1四半期	8,057	△5.9	254	△29.8	261	△32.6	124	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △82百万円(—%) 24年3月期第1四半期 124百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△4.87	—
24年3月期第1四半期	7.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,108	9,626	43.4
24年3月期	22,017	9,872	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,598百万円 24年3月期 9,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,864	10.2	800	△18.2	830	△18.9	389	△16.9	23.99
通期	38,441	9.2	2,057	1.8	2,082	0.2	849	9.1	52.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期1Q	16,268,441株	24年3月期	16,268,441株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	14,530株	24年3月期	14,530株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期1Q	16,253,911株	24年3月期1Q	16,254,049株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により回復基調にあります。原子力災害や電力供給不足に加え、欧州債務危機や世界経済の減速懸念、円高の長期化等、先行きに対する不透明感は根強く、本格的な景気回復には時間がかかるものと思われ。雇用・所得環境には改善の動きも見られますが、依然として厳しい状況にあることから消費マインド・個人消費の大幅な改善には至らず、デフレ基調が継続しております。

外食産業におきましても、景気低迷やエネルギーコストの上昇、増税・年金問題等による節約志向から外食を控える傾向が強まる一方、顧客獲得に向けた外食市場での競争に加え、中食市場との競争も激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、すべてのお客様に感動・感激の場を提供できる店舗づくりを目指し、継続的な店舗QSC(クオリティ・サービス・クリンリネス)レベル向上対策と商品戦略強化に取り組みながら、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた出店戦略に基づき、既存商圏内へのドミナント出店を積極的に推し進めてまいりました。また、自社工場における主要食材の大量生産システムによるメリットを最大限に発揮することで品質の差別化と低価格戦略を継続するとともに、「食の安全・安心」を提供するための品質管理体制強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,808百万円(前年同期比9.3%増)の増収となりましたが、人件費の増加や食材・エネルギー単価の高騰、新規出店数増加(新規出店数前年同期比6店舗増)に伴うオープン初期費用増加等の影響から営業損失は18百万円(前年同期は、営業利益254百万円)、経常利益は13百万円(前年同期比94.8%減)、四半期純損失は79百万円(前年同期は、四半期純利益124百万円)の減益となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末のグループ店舗数は480店舗(前年同期比42店舗増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高または振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「マイスター制度(社内調理資格制度)」と「テーブル担当制(テーブル・サービス・レストラン型オペレーション)」を柱としたQSCレベル向上対策に継続的に取り組んでおります。各種マイスター育成については、全店舗・全時間帯においてマイスター取得者を配置できる体制を整えることを目的に取得率目標(ギョーザ70%、チャーハン50%、麺35%)を設定しました。すでに全店舗が目標値をクリアできるマイスター取得者を育成しており、安定した品質の商品提供につなげております。また、テーブル担当制については、あらためてホール担当者ごとの作業範囲と優先順位等を明確化し、ルール通りのオペレーションが実行されているか確認するための店舗ごとの認定制度を設けることで、すべてのお客様に満足いただけるサービス体制の確立に努めております。

商品面におきましては、期間限定の新商品として「肉中華そば」を導入し、お客様からの高い注文率と客単価の向上につなげているほか、夏季対策として、「冷し中華」や「冷し担担麺」、「野菜辛し盛り中華」等の冷たいメニューを充実させてまいりました。また、当社の定番商品である「チャーハン」のブラッシュアップを実施しました。

これらの諸施策により既存店売上・客数の増加に努めてまいりましたが、厳しい経営環境の影響により当第1四半期連結累計期間における直営既存店は、売上高前年同期比2.2%の減少、客数前年同期比4.8%の減少となりました。

店舗展開につきましては、年間43店舗(国内)の新規出店を計画しており、当第1四半期連結累計期間においては関東地方を中心に新規に直営店「幸楽苑」16店舗、出店形態別ではロードサイド14店舗、ショッピングセンター内フードコートタイプ1店舗、ビルインタイプ1店舗を出店し、スクラップ・アンド・ビルドを直営店2店舗で実施いたしました。また、7月には海外1号店となるエカマイ店(タイ)をオープンさせております。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店454店舗(前年同期比43店舗増)となり、業態別には「幸楽苑」454店舗となりました。

この結果、売上高は8,495百万円(前年同期比9.6%増)となりましたが、営業利益は468百万円(同29.0%減)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ加盟店23店舗)、その他外食事業(和食業態及びハンバーグ業態の店舗展開)、損害保険及び生命保険の代理店業務、広告代理店業務を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、福島第一原子力発電所の事故に伴い警戒区域に指定されたフランチャイズ加盟店1店舗について、営業再開の目途が立たないことからスクラップといたしました。

その他外食事業の店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末において直営店3店舗となり(前年同期比増減なし)、業態別には「和風厨房伝八」(和食業態)2店舗、「グリルガーデン」(ハンバーグ業態)1店舗となっております。ハンバーグ業態は株式会社フライングガーデンのフランチャイズ加盟店として営業しておりますが、サラダバー導入等のメニュー構成見直しを実施したことから、5月より「グリルガーデン」に名称を変更しております。

また、広告代理店業務の売上高が増加したこと等から、売上高は461百万円(前年同期比3.7%増)となり、営業利益は88百万円(同7.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて626百万円減少し、3,545百万円となりました。これは、現金及び預金が471百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて716百万円増加し、18,562百万円となりました。これは、建物が153百万円、リース資産が482百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて90百万円増加し、22,108百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて189百万円減少し、6,509百万円となりました。これは、未払法人税等が584百万円減少し、一年内返済長期借入金が144百万円、流動負債「その他」に含まれる未払金が210百万円、それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて525百万円増加し、5,972百万円となりました。これは、長期借入金が290百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が209百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて336百万円増加し、12,481百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて245百万円減少し、9,626百万円となりました。これは、利益剰余金が241百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,840,565	2,369,435
売掛金	174,404	146,615
たな卸資産	260,944	265,573
その他	896,396	764,217
流動資産合計	4,172,311	3,545,842
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,337,133	5,490,451
土地	3,954,241	3,954,241
リース資産	2,126,519	2,609,221
その他(純額)	999,969	1,087,215
有形固定資産合計	12,417,864	13,141,129
無形固定資産		
投資その他の資産	176,855	172,075
敷金及び保証金	2,044,588	2,074,308
その他	3,207,691	3,176,389
貸倒引当金	△1,338	△1,320
投資その他の資産合計	5,250,942	5,249,377
固定資産合計	17,845,662	18,562,582
資産合計	22,017,973	22,108,425
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,622,631	1,578,458
1年内返済予定の長期借入金	1,259,480	1,404,470
未払法人税等	670,089	86,067
その他	3,147,017	3,440,634
流動負債合計	6,699,217	6,509,630
固定負債		
長期借入金	2,905,530	3,196,450
資産除去債務	583,985	602,912
その他	1,957,028	2,172,901
固定負債合計	5,446,543	5,972,264
負債合計	12,145,761	12,481,894

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,096	2,658,096
利益剰余金	4,538,494	4,296,742
自己株式	△20,036	△20,036
株主資本合計	9,838,216	9,596,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	1,903
為替換算調整勘定	△150	351
その他の包括利益累計額合計	5,565	2,254
新株予約権	22,230	21,944
少数株主持分	6,200	5,867
純資産合計	9,872,212	9,626,530
負債純資産合計	22,017,973	22,108,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,057,620	8,808,066
売上原価	2,146,831	2,378,344
売上総利益	5,910,788	6,429,721
販売費及び一般管理費	5,656,775	6,448,667
営業利益又は営業損失(△)	254,013	△18,946
営業外収益		
受取利息	9,370	8,691
固定資産賃貸料	42,181	39,221
協賛金収入	19,210	29,650
その他	23,402	17,106
営業外収益合計	94,164	94,669
営業外費用		
支払利息	13,456	15,885
固定資産賃貸費用	40,608	39,023
その他	32,928	7,316
営業外費用合計	86,993	62,225
経常利益	261,185	13,497
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	40,122	13,285
社会保険料還付額	—	10,424
その他	520	7,081
特別利益合計	40,642	30,792
特別損失		
投資有価証券評価損	27,716	14,778
減損損失	—	70,375
その他	963	881
特別損失合計	28,679	86,035
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	273,148	△41,746
法人税、住民税及び事業税	51,730	58,350
法人税等調整額	97,173	△20,026
法人税等合計	148,903	38,323
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	124,244	△80,069
少数株主損失(△)	—	△856
四半期純利益又は四半期純損失(△)	124,244	△79,212

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	124,244	△80,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△3,812
為替換算調整勘定	—	1,025
その他の包括利益合計	△79	△2,787
四半期包括利益	124,165	△82,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,165	△82,523
少数株主に係る四半期包括利益	—	△332

